

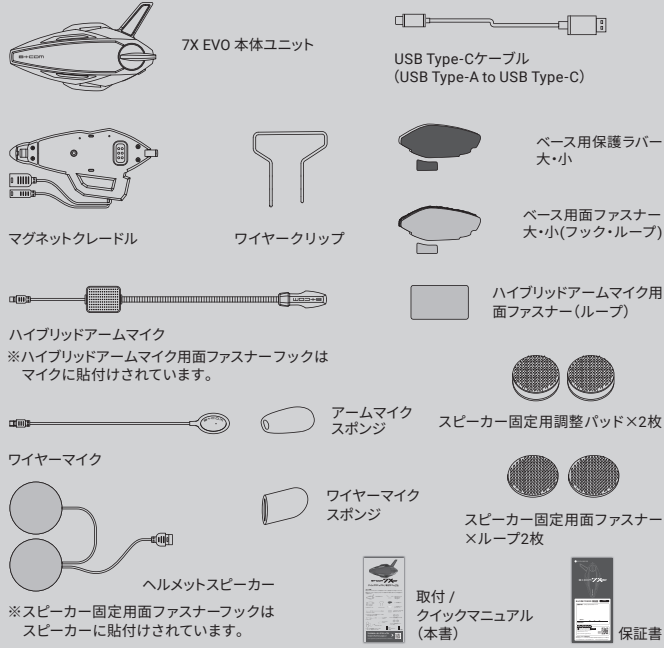
B+COM 7X EVO

クイックマニュアル / 取付マニュアル

26.03.01

セット内容

製品パッケージには以下のパーツが同梱されています。ご使用前にすべてが揃っていることを確認ください。万一、不足がございましたら、お手数ですがお問い合わせいただいた販売店までご連絡ください。

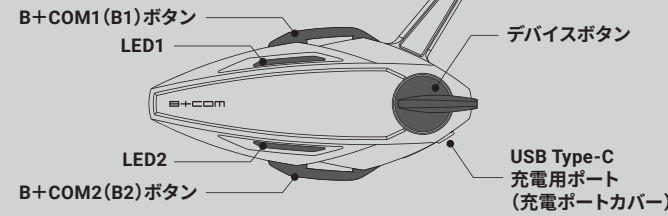


7X EVOユーザーズマニュアル

操作方法及び、保証内容など詳しくはWEBサイトの「7X EVOユーザーズマニュアル」をご確認ください。
<https://sygnhouse.jp/products/bcom/bcom-7x-evo/#how-to>

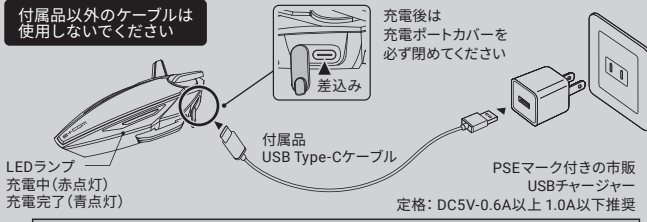


製品名称



充電方法

※本製品には、USB充電器は同梱されておりません。PSEマークの付いた市販のUSB充電器をご使用ください。



初めて使用するときは、必ず充電してください。

- ⚠ B+COM本体の充電は、付属の「USB Type-Cケーブル」を必ず使用してください。市販の「USB Type-Cケーブル」を使用した場合、本体の故障、トラブル(発熱、発火)の原因となる恐れがあります。
- ⚠ USB Type-C端子へ挿入する際は、水分、ゴミ、汚れ等を必ず除去し、無理な力を掛けない、正しく確実に挿入してください。
- ⚠ 使用後は必ず充電してから保管してください。長期保管時は、1ヶ月に1回程度は追充電を行ってください。

電源オン/オフ

電源オン：デバイスボタンの中心を押したまま1秒間上げる

LED 青 流れる点滅 サウンド B+COM起動

電源オフ：デバイスボタンの中心を押したまま1秒間下げる

LED 赤 流れる点滅 サウンド B+COM終了

バッテリー残量の確認

電源オン/オフ時に、ステータスLEDの表示パターンおよび音声によって電池残量を確認できます。

B+COMとスマートフォンをペアリングする

本体にペアリング情報がない場合、電源オンで自動でペアリングモードになります。

電源オフの状態デバイスボタンの中心を押したまま上へ4秒間回す

LED LED1: 青 流れる点滅 サウンド デバイス1ペアリング

スマートフォンの操作

スマートフォンのBluetooth設定から【7X EVO_V1.00_000A】を選択してください。
※操作方は各スマートフォンの取扱説明書をご確認ください。

B+COMの表示 LED 青 ゆっくり点滅 サウンド デバイス1接続

一度ペアリングを行えば、電源のオン/オフを行っても登録情報は消えないので、電源を入れてすぐに自動で接続が可能です。

安全に正しくお使いいただくために

- B+COM 7X EVO は精密部品で構成された電子機器です。ご使用になる前に、この「使用上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書には、お使いになるあなたや、他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全なご使用のために守っていただきたい事項を記載しています。
- お子様がお使いになる場合は、保護者などの大人が本書をよくお読みになり、安全で正しい使い方をご指導ください。
- オートバイ運転中の携帯電話や通信機等の使用に関しては、事前に使用地域の法律条例等をご確認ください。
- オートバイ運転中に本製品を使用する場合、自己責任で安全運転を心掛けてください。
- 表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をご理解の上、本文をお読みください。

⚠ 危険

指示に従わない場合、死亡または重大な傷害に至ることを示します。

⚠ 警告

指示に従わない場合、死亡または重大な傷害に至る可能性があることを示します。

⚠ 注意

指示に従わない場合、傷害に至る可能性があることを示します。

<使用上の注意>

本製品は日本国内向けに設計・製造されています。海外ではその国の電波法に抵触する恐れがありますので、使用できません。

⚠ 危険

- 分解、改造、修理をしないでください。本製品の発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となり、ケガをする恐れがあります。
- 水がかかる場所への放置、または水没させないでください。本製品は防水仕様ですが、長時間にわたり水がかかる環境下での使用は想定しておりません。また、本体が濡れた状態や濡れた手でコネクタやUSBジャック接続パーツの着脱を行わないでください。発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となります。
- 高温多湿になる場所、熱器具の近くでの充電、放置は避けてください。発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となります。
- 異常状態のまま使い続けしないでください。発煙や焦げ臭いなどの異常を放置して使用すると、発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となります。ただちに使用を中止して、販売店に検査および修理の依頼をしてください。
- ボリューム設定に気を付けてください。突然の大音量、継続的な大音量は鼓膜の損傷や難聴の原因となります。
- 自動ドアなどの近くでは使用しないでください。自動ドアや火災報知器の自動制御装置が誤作動する恐れがあります。
- 気温の低い場所から、屋内などへ移動した場合、本体内部に結露が発生することがあり、そのまま使用を続けたり、充電をすると発熱、破裂、発火、故障の原因となります。

⚠ 警告

- 大音量で聴きながらの運転は危険です。運転に必要な様々な音が聞き取れなくなり、重大な事故の原因となります。また、音に集中すると運転意識の低下につながり、重大な事故の原因となります。
- 雷鳴が聞こえた場合、ただちに使用を中止し、安全な場所に避難してください。
- 落雷や感電に見舞われる恐れがあります。
- 医療機器等の近くでは電源を切り、使用はお控えください。マグネットの磁力やBluetoothの電波により、医療向け計測器、心臓ペースメーカーなどの正常な動作を損なう場合があります。それら機器をお使いの場合は、機器製造メーカーや販売店に影響をご確認ください。
- 本機を航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従ってください。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

⚠ 注意

- 電子機器(携帯電話、時計、テレビ、スピーカー、パソコンなど)、精密機器などに近づけると故障や誤作動の原因になります。
- 磁気記録媒体(フロッピーディスク、磁気カード、磁気テープ、プリペイドカード、切符、MDなど)のデータが破壊されたり、磁化されて使用できなくなる恐れがあります。本機を近づけないでください。
- 砂埃や砂浜など、砂ぼこりの多い場所では使用しないでください。砂埃や鉄屑がマグネット部に付着し、本体の脱落や正常な動作を妨げる恐れがあります。

<電池に関するご注意>

B+COM 7X EVOは内蔵バッテリーにリチウムイオンバッテリーを使用しています。

⚠ 警告

- バッテリーパックから漏れた液が目や肌に付着した時は、こすらずに清潔な水で洗い流してください。洗い流した後は、早急に眼科や皮膚科などの医師の診断を受けてください。漏れた液が本体内部に残っていることがあるので、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 家庭用コンセントからの充電の際は指定のUSB充電器を使用してください。指定以外のUSB充電器を使用すると、発熱、破裂、発火、故障の原因となります。
- ※PSEマーク付きの市販USB充電器 定格:DC5V-0.6A以上1.0A以下
- USB充電器を使用する場合、指定以外の電源、電圧で充電しないでください。交流100V-240V以外の電源、電圧で充電すると火災や故障の原因となります。
- 長期間使用しない時はUSB充電器をコンセントから抜いてください。挿したままの状態での充電、発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となります。
- 充電時には接続端子にゴミや汚れ、水分などが付着していないか確認してください。雨天使用時など製品を濡らした際は、水分が付着していないかご確認ください。水濡れ充電、異物混入充電は、火災や感電、故障の原因となります。
- 内蔵バッテリーは消耗品です。劣化した状態の内蔵バッテリーで製品を使用し続けるとバッテリーの発熱、破裂、発火、故障の原因となります。満充電後の使用時間が短くなった場合は、内蔵バッテリーの劣化が考えられます。内蔵バッテリーの交換(有償)を推奨します。弊社サポートセンターにご連絡ください。

⚠ 注意

- USBジャック、本体とマグネットクレードルの接続端子に金属片を接触させないでください。内蔵バッテリーがショートして発熱、破裂、発火する恐れがあります。



リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。製品が不要になった場合には、お住まいの市区町村または自治体のルールに従って処分してください。

音楽やラジオ(アプリ)、ナビ音声を聴く

スマートフォンの操作

- ・音楽プレイヤー
- ・ラジオアプリ
- ・ナビアプリ



アプリを起動し再生します。

再生 / 一時停止

デバイスボタンの中心を1回押す



音量調整

デバイスボタンのつまみを

- 上に1回: 音量が上がる
- 下に1回: 音量が下がる

曲の頭出し / スキップ

デバイスボタンのつまみを

- 上に1秒間: スキップ
- 下に1回: 曲の頭出し

ハンズフリーで通話する

着信 / 通話

音楽再生中は曲が停止し、着信音になります。

デバイスボタンの中心を

- 着信中に1回押す: 応答
- 通話中に1回押す: 終話
- 通話中に2回押す: 着信拒否



※ 接続しているデバイスやプレイヤー、アプリによって仕様が異なり、正しく動作しない可能性があります。

通話してみよう 7X EVO (B+FLEX) には2通りのパターンがあります。

| | |
|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| B+FLEXオープンチャンネル | 同じチャンネルに入った全てのユーザーとの通話になります。同じチャンネルの誰でも通話ができます。 |
| B+FLEXプライベートチャンネル | 招待されたメンバーのみのグループ通話になります。メンバー全員がB+FLEX APP (スマートフォンアプリ)を使用する必要があります。プライベートチャンネルのみオンライン通話(β版)が可能です。 |

POINT: 電源オフ時点での通話したチャンネルを引き継ぎます。プライベートチャンネルで電源オフにした場合、プライベートチャンネルで接続した最後のチャンネルに接続します。

B+FLEXオープンチャンネルで通話する

7X EVOは電源を入れ、ボタンを押す **1アクション** だけでインカム通話が可能です。

本体の電源をオンにする

B1, B2ボタンを同時に押す

LED 緑 点滅2回
サウンド B+FLEX オープンモード開始
※通話する方全員この操作が必要です。

同じチャンネルのユーザーと通話が始められます

- ・出荷時は「チャンネル1」になっています。
- ・次回オープンチャンネル使用時は最後に選択したチャンネルが引き継がれます。
- ・オープンチャンネルは同じチャンネルに入った全てのユーザーとの通話になります。

通話の終了

B1, B2ボタンを同時に押す

LED 緑 点滅2回
サウンド B+FLEX オープンモード終了

チャンネルを変更する

オープンモード中にB1, B2ボタンを同時に3秒間長押しする

LED 緑 点滅2回
サウンド B+FLEX オープンモードチャンネル選択

チャンネルの選択

B1, B2ボタンのどちらかを押す

サウンド チャンネル「○○」
※チャンネルは8個ありループします。

チャンネルの決定

選んだチャンネルの状態B1, B2ボタンを同時に押す

LED 緑 点滅2回
サウンド チャンネル「○○」B+FLEX オープンモード開始
※一定時間操作がない場合は、選択したチャンネルで通話が始まります。

B+FLEX APPを使う

B+FLEX APPではチャンネルをタッチすることで簡単にチャンネルを変更することができます。

B+FLEXプライベートチャンネルで通話する

⚠ プライベートチャンネルはメンバー全員がB+FLEX APP (スマートフォンアプリ)を使用する必要があります。

チャンネルの新規作成とシェア

- 「プライベートチャンネル」を押す
- 「新規作成」を押す
- 名前を入力し「作成」を押す
- プライベートチャンネルの作成完了

シェアボタンを押して二次元コードを表示する

メンバーを招待します。招待には2つの方法があります。

- 1) プライベートチャンネルシェアの二次元コードをシェアする
- 2) URLをコピーを押してメールなどでシェアする

プライベートチャンネルリストからも表示可能

通話の終了

本体とアプリ、どちらからでも終話することができます。

本体: B1, B2ボタンを同時に押す
アプリ: チャンネルボタンを押す

LED 緑 点滅2回
サウンド B+FLEX プライベートモード終了

チャンネルへの参加

二次元コードを読み取る際はB+FLEX APPのカメラ機能を使って読み取ってください。

※カメラ機能はB+FLEX APPのHOME及びチャンネルリストの右上のボタンから起動できます。

メンバーがそろったら通話が始まります。

LED 橙 点滅
サウンド B+FLEX プライベートモード開始

B+FLEX ONLINE (β版) について

B+FLEX MESH通信圏外になると7X EVOは自動でオンラインに切替わります。この機能により通信距離にかかわらず会話することが可能です。

※プライベートチャンネルのみB+FLEX ONLINE (β版)への切替えが可能です。

※スマートフォンのデータ通信料が発生いたします。

B+LINK対応機種と通話する方法

B+LINK対応機種と通話する場合は、ユニバーサルインターコール・レシーブ機能を使用します。

接続相手のB+LINK対応インカム

B+COM SB 6XRの場合

電源オンの状態でB2ボタンを3秒間長押しし、「ユニバーサルインターコール・レシーブ」モードにします。

※詳しい操作は各インカムの取扱説明書をご参照ください。

7X EVO 「ユニバーサルインターコール」モードにする

1. 電源オンの状態でB2ボタンを3秒間長押しします。
LED 紫 流れる点滅 サウンド ユニバーサルペアリング
2. B2ボタンを押します
LED 紫 流れる点滅 サウンド サーチ開始

自動で会話が始まれば完了

LED 紫 ゆっくり点滅
サウンド ユニバーサル接続

詳しくはこちら

B+FLEX APPを使って7X EVOを使いこなす

詳しくはこちら

取付方法

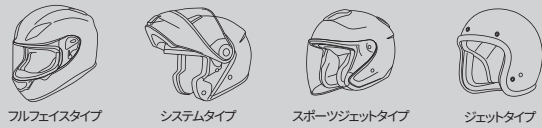
B+COM 7X EVOの音質性能を最大限発揮させるには、取付位置が重要です。

装着時の注意点

●このクイックマニュアルおよびヘルメットの取扱説明書に従って作業を行ってください。●内装が脱着できるヘルメットは、耳に当たる部分の内装(チークパッド)を外しておくと、作業がスムーズに進みます。●接着シートで貼付けるパーツは、取付位置を仮決めして、操作に支障がないことを確認した後、接着面の清掃、脱脂を行ってから貼付けてください。●余った配線は、傷つけないようヘルメットの帽体と内装の間に入れてください。●作業終了後、配線接続の最終確認をしてから動作確認を行ってください。●ヘルメットにより簡単に取付できない場合がございます。その場合はヘルメットをご購入された販売店様へご相談ください。(ヘルメットを加工する場合、お客様の自己責任の上で、加工、装着を行ってください。)

ヘルメットタイプと取付手順の確認

ヘルメットの種類に合わせて
マイクの取付方法を選びます。



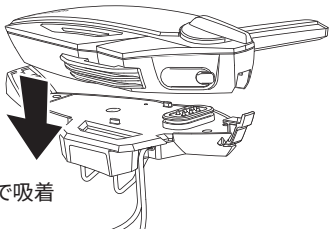
| マイクの種類 | フルフェイスタイプ | システムタイプ | スポーツジェットタイプ | ジェットタイプ |
|--------------|-----------|---------|-------------|---------|
| ワイヤーマイク | ○ | × | × | × |
| ハイブリッドアームマイク | × | ○ | ○ | ○ |



重要 本体とマグネットクレードルの取付/取外方法

本体にマグネットクレードルがついた状態で同梱されています。ヘルメットに取付する際は、本体を外してから取付してください。

取付け



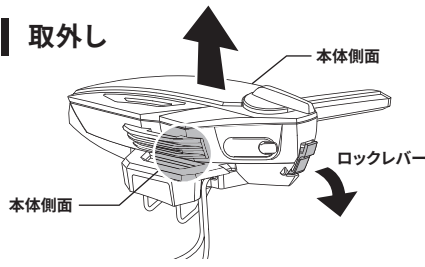
マグネットでは吸着

本体を近づけるとマグネットが吸着します。

※取付け後は本体とクレードルの間に隙間やがたつきがないことを確認して下さい。
※本体を取付ける際に異物や、水分などが入り込まないように注意してください。

▲ 本体とマグネットクレードルの端子部分を直接手で触らないようにしてください。接触不良や静電気による動作不良を引き起こし、本機が正常に動作しなくなる恐れがあります。

取外し



マグネットクレードルのロックレバーを押し下げながら、本体側面を上持ち上げます。

※取外す際はアンテナをひっぱたり、ロックレバーに無理な力を加えないようにして下さい。

詳しい「ヘルメット取付資料」はこちらからご確認ください

<https://sygnhouse.jp/products/bcom/bcom-7x-evo/#how-to>



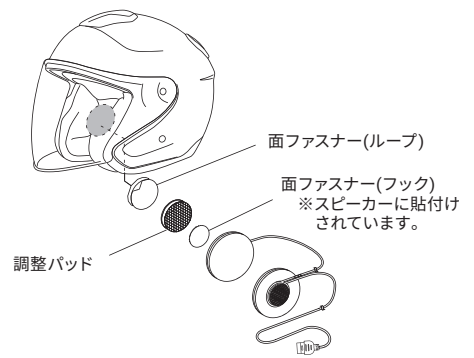
1. スピーカーの取付け

イヤースペースがあるタイプ

チークパッドを外し、面ファスナーのループをスピーカー設置場所に貼付け、スピーカーを固定します。

●調整パッド

耳とスピーカーの隙間が大きい場合、必要に応じて挟んでください。(付属のパッド等で固定や調整が難しい場合は、市販の調整しやすいものを追加し、装着してください。)



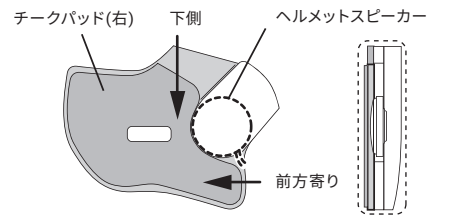
ジェットヘルメットなどのヘルメットは外音が入ることが多く、フルフェイスタイプと比べると音質が劣る傾向にあります。また、フルフェイスタイプであってもシールドやエアインテークの開閉状態により外音の入り込みが大きくなり、本来の音量、音質が得られない場合があります。

チークパッド(システムパッド)のイヤースペースが布で覆われ脱着できるタイプ (Arai社製など)

チークパッドを外し、布の中へスピーカーを入れて面ファスナーで固定してください。

スピーカーはイヤースペースの下側、前方寄りに取付けてください。

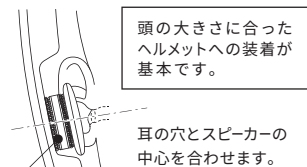
- 耳の穴とスピーカーの中心が合いやすくなります。
- 耳の入るスペースが空くので、圧迫感が少なくなります。



取付ける前に本来の音量・音質を確認しましょう!

スピーカー単体を耳にあてて本来の音量や音質を確認しておきましょう。ヘルメットを被った際、ほぼ同じように聴こえることが重要です。位置が適正でない、「耳が痛い」、「スピードを上げると聴こえない」、「音量を上げるとノイズがひどい」といった症状になります。

耳にやさしくフィットするよう調整パッドで隙間を調整してください。



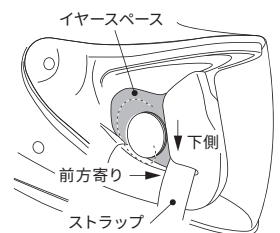
頭の大きさに合ったヘルメットへの装着が基本です。

耳の穴とスピーカーの中心を合わせます。

調整パッド

- 隙間が大きい
→本来の音量、音質が得られない可能性があります。
- 耳の中心からずれている
→本来の音量、音質が得られないだけでなく、長時間の使用で耳が痛くなる可能性があります(特に耳の上部)。

スピーカーはイヤースペースの下側、前方寄りに、ストラップの付け根に寄せるように取付けてください。

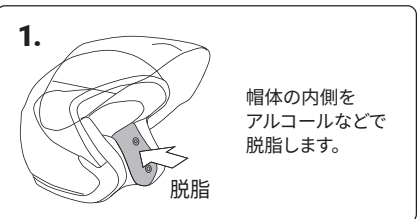


- 耳の穴とスピーカーの中心が合いやすくなります。
- 上側の耳たぶのスペースが空くので耳が押されにくくなり使用中に耳が痛くなりやすくなります。

2. マイクの取付け

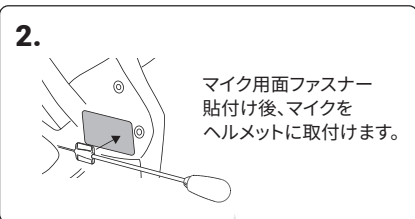
2種類のマイクが同梱されています。ヘルメットの種類に合わせてマイクの取付方法を選びます。

ハイブリッドアームマイクの取付け



帽体の内側をアルコールなどで脱脂します。

脱脂



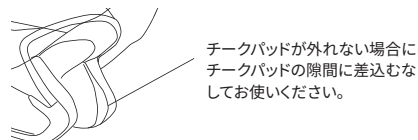
マイク用面ファスナー貼付け後、マイクをヘルメットに取付けます。

●マイクスポンジの取付



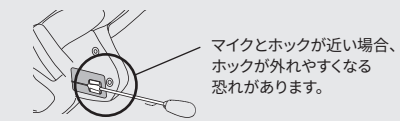
▲マイクスポンジは必ず取付けてご使用ください。風切り音を軽減します。

チークパッドが取外せない場合



チークパッドが外れない場合にはチークパッドの隙間に差込むなどしてお使いください。

取付前のポイント マイク用面ファスナー、マイクを仮置きして貼付け位置を決定します。



マイクとホックが近い場合、ホックが外れやすくなる恐れがあります。

POINT

マイク用面ファスナーがヘルメットのホックに重なる場合はカットします。

ハイブリッドアームマイクを取付けると

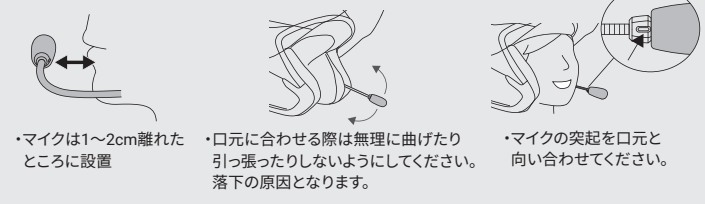
取付するヘルメットによってチークパッドと帽体との間に隙間が生じる場合があります。



チークパッド

帽体

▲マイクについての注意点



●マイクは1~2cm離れたところに設置

●口元に合わせる際は無理に曲げたり引っ張ったりしないようにしてください。落下の原因となります。

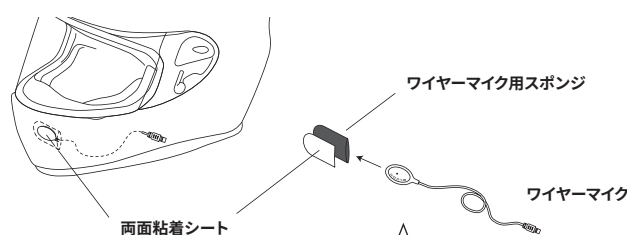
●マイクの突起を口元と向い合わせてください。

※走行中に巻き込み風や流速の早い風がヘルメットに当たる場合、風切り音となって大きいノイズが相手に聞こえてしまう場合があります。(シールド半開き時は特に増大します)

ワイヤーマイクの取付け

●マイクスポンジの取付け

チンガード部の口元に接着シート付きのワイヤーマイク用スポンジを貼付けます。ワイヤーマイクはヘルメット帽体(外装)とチークパッド(内装)の隙間からケーブルが出るように配線し、マイクスポンジのスリットにマイクを挿入します。



ワイヤーマイク用スポンジ

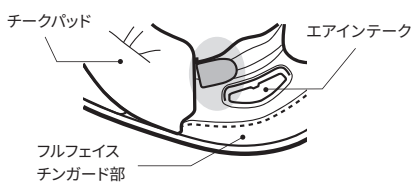
ワイヤーマイク

両面粘着シート

●スポンジの取付位置

風の影響を受けやすい、エアインテークを避けた位置へ貼付けます。図を参考になるべく下からの巻き込み風が少ない上よりの位置に取付けてください。

※貼付け前にスポンジ貼付位置を脱脂してください



チークパッド

エアインテーク

フルフェイス

チンガード部

ワイヤーマイクは穴の空いている面がマイク集音部です。マイク集音部を口元側に向けてください。



集音部

3. マグネットクレードルの取付け

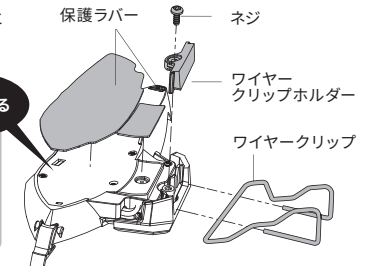
マグネットクレードルの取付方法は2種類あり、ヘルメットの仕様や使い勝手により取付方法をお選びください。

ワイヤークリップを使用 ▲組立にはドライバーNo.1が必要になります。

ヘルメット外装へ挟み込むため、確実なホールド性と高いフィット感が得られます。保護ラバーはヘルメット外装への傷防止とグリップ力を高めます。

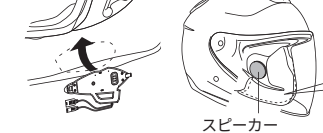
●ワイヤークリップの組立て

- ①+のドライバーNo.1でネジ、ワイヤークリップホルダーを外します。
- ②保護ラバーの剥離紙をはがして貼付けます。
- ③ワイヤークリップをはめ込みます。
- ④外したワイヤークリップホルダーを取付けます。
- ⑤ネジで確実に固定します。



脱脂する

●ワイヤークリップの取付け



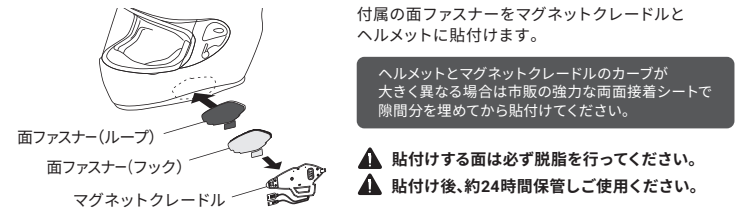
スピーカー



ホック/ピン

チークパッドのホックやストラップのピンなどに当たらず、クリップが奥まで入る位置に取付けます。

貼付けて使用



面ファスナー(ループ)

面ファスナー(フック)

マグネットクレードル

●面ファスナーで取付ける場合

付属の面ファスナーをマグネットクレードルとヘルメットに貼付けます。

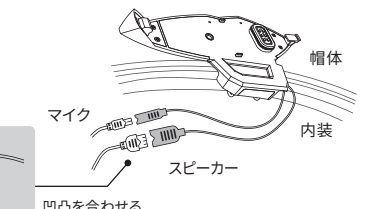
ヘルメットとマグネットクレードルのカーブが大きく異なる場合は市販の強力な両面接着シートで隙間を埋めてから貼付けてください。

- ▲ 貼付けする面は必ず脱脂を行ってください。
- ▲ 貼付け後、約24時間保管してご使用ください。

マグネットクレードルのコネクタとマイクスピーカーコネクタの接続

ヘルメットに取付けた後、マグネットクレードルのコネクタとマイクスピーカーのコネクタを接続してチークパッドを元に戻します。

- ※コネクタを接続する際はケーブルを引っ張らずコネクタ部分を持って抜き差しを行ってください。
- ※コネクタの端子の凹凸の向きに注意して差込んでください。



コネクタ部分を持つ

凹凸を合わせる

スピーカー

マイク

帽体

内装

余ったケーブルは傷つけないようにヘルメット帽体と内装の間に押し込んでください

ケーブルが噛み込んだり、折れたりしないように気をつけて配線してください。またケーブルに無理に力がかかたりしないよう配線に余裕を持たせてください。

4. 本体の取付け

本体をマグネットクレードルに近づけるとマグネットが吸着します。

※走行時は本体を必ず取付けてください。※本体を取付ける際に異物や、水分などが入り込まないように注意してください。

